

大船渡市水産業振興計画【概要版】(案)

1 計画策定の趣旨

近年の水産業を取り巻く環境は、海洋環境の変化等による水産資源の減少や漁業の後継者・担い手の減少のほか、主要魚種の記録的不漁に伴う加工原魚の不足、消費者ニーズの変化など様々な課題を抱えております。

本計画は、当市の水産業が持続的に発展し、市民から期待される役割を十分に果たすために、中長期的な視点に立ち、水産のまち大船渡として取り組むべき水産施策の指針として策定するものです。

2 計画の位置付け及び計画期間

本計画は、「大船渡市総合計画」の水産業部門計画として、中長期的な展望に立ち、当市水産業振興の基本的な方向性を示すものです。

計画期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。

3 課題

基本事業	課題
基本事業1 持続可能な漁業の推進	
(1) 水産資源の安定確保	適切な資源管理と増殖事業の推進を通じた持続可能な水産資源の確保
(2) 漁場環境の保全	磯焼けや海洋ごみ対策の推進による漁場環境の保全
基本事業2 漁業経営の安定支援	
(1) 漁業経営の安定と生産性の向上	海洋環境の変化に適応した生産体制の構築とスマート水産技術の導入等による漁業経営の安定化
(2) 担い手の育成・確保	次代を担う中核的リーダーの育成と新規漁業就業者の着実な確保
(3) 漁港・漁業集落基盤の整備・活用	海業等を通じた漁港施設等の有効活用と適切な維持管理の推進
基本事業3 水産加工・流通機能の強化	
(1) 大船渡市魚市場の水揚げ増強	漁船誘致等による魚市場への着実な水揚げを通じた加工原魚の安定的な確保
(2) 水産加工・流通体制の強化	水揚げ魚種の変化への対応と地域水産物の高付価値化及び消費拡大の推進

4 基本方向

(1) 水産資源の安定確保

- ・水産資源を効率的かつ持続的に利用するため、科学的で合理的な水産資源の管理を推進するよう国や県に対して働き掛けを行うなどの取組を推進します。
- ・アワビやサケ、ヒラメの種苗放流など、つくり育てる漁業を推進するとともに、漁獲制限の遵守等により適切な資源管理を推進し、水産資源の確保に努めます。
- ・サーモン養殖用種苗の生産などによるサケふ化場の有効活用等の取組を推進します。

(2) 漁場環境の保全

- ・漁業者等が行う藻場の再生活動等の磯焼け対策や河川の環境保全など、水産業・漁村の持つ水産多面的機能の発揮に資する活動に対して支援し、漁場の生産性を高め、水産業の再生や漁村の活性化を図ります。
- ・海洋ごみの削減及び発生抑制に向けた取組を推進し、漁場環境の改善・保全に努めます。

(1) 漁業経営の安定と生産性の向上

- ・省力化・省エネルギー化に向けた資機材の導入やICTの活用を図るとともに、多様な人材の活用により、安定的で収益性の高い操業体制の実現に向けた取組を支援します。
- ・浜の活力再生プラン等に基づく漁業経営の高度化、効率化を図る取組を支援します。
- ・漁家の経営安定化を図るため、漁業共済への加入を促進し、助成を継続します。
- ・異常高水温下においても安定的な生産量を確保するため、海洋環境の継続的なモニタリングを実施し、環境の変化に対応した生産技術の改良・開発と高水温耐性等のある新規養殖種の導入の検討・実証を行い、各漁協の経営基盤強化や施設整備を支援します。
- ・ALPS処理水の海洋放出に伴う影響への対応について、国等に対する必要な働き掛けを継続します。
- ・貝毒による食中毒の防止など水産物の安全性を高める取組を支援するとともに、漁獲物の低温管理等の品質向上の取組を推進します。
- ・操業中の安全性を高め、労働環境の改善に資する取組を支援します。

(2) 担い手の育成・確保

- ・大船渡市漁業就業者確保育成協議会やいわて水産アカデミーと連携し、経営支援や生活支援等により新規漁業就業者の受入れと定着を促進します。
- ・中核的リーダーとなる人材の育成を支援するほか、漁業の魅力等の発信や小中学校等の漁業体験、水産教室等の活動の充実を図るとともに、女性の参画等を促進し、将来の担い手を育成・確保します。

(3) 漁港・漁業集落基盤の整備・活用

- ・漁港を核とした観光や交流、教育、地域産品の開発など、海業の推進を通じて地域経済の活性化を図ります。
- ・漁獲物の水揚げなど漁業生産活動の拠点であり、漁業者の交流の場でもある漁港施設等の機能強化を図るとともに、既存施設等が長期にわたって機能や能力を発揮されるよう適切な管理に努めます。
- ・快適で潤いのある漁業集落を形成するため、生活環境の基盤整備等を推進します。

(1) 大船渡市魚市場の水揚げ増強

- ・積極的な漁船誘致活動を実施し、三陸沿岸の水揚拠点施設である魚市場への水揚げ増強を図ります。
- ・安全・安心で高品質な水産物を供給するため、衛生管理及び鮮度管理の取組を推進するとともに、施設の適正な維持管理に努めます。

(2) 水産加工・流通体制の強化

- ・魚市場に水揚げされる魚種の変化に対応した加工体制の強化、未利用・低利用な地域資源を活用した高付加価値の水産加工品開発やブランド化、販路の開拓、ICTの活用などの取組を推進します。
- ・海洋環境の変化による加工原魚不足に対応するため、養殖サーモンなどの新たな加工原魚の確保に向けた取組を推進します。
- ・水産加工業のHACCP認定取得を支援し、地域水産物の衛生管理レベルの向上を推進します。
- ・水産加工従業者の安定確保に向けた就労環境整備等の取組を支援します。
- ・水産物消費の拡大や食文化の継承のため、魚食普及の取組を推進します。

5 取組・推進する事業詳細、成果指標

基本事業		取組・推進する事業詳細（主な事業を掲載）	成果指標	実績値* (R6)	目標値 (R12)
基本事業1 持続可能な漁業 の推進	(1) 水産資源の安定確保	(ア) 水産資源確保に関する取組の推進 ・各漁協の資源管理協定の遵守 (イ) つくり育てる漁業の推進 ・サケのふ化放流事業の持続化の検討 ・サーモン養殖用種苗の生産などサケふ化場の有効活用等の推進	アワビの漁獲量	10 トン	17 トン
			ナマコの漁獲量	24 トン	16 トン
			ヒラメの漁獲量	35 トン	32 トン
	(2) 漁場環境の保全	(ア) 漁場の整備と漁場管理の徹底 ・藻場等の再生・保全の推進に加え、漁業生産活動等を通じたブルーカーボンの取組につながる漁場環境づくりの推進 (イ) 海洋ごみの削減と発生抑制 ・海岸漂着物等地域対策推進事業による漁場の漂流・漂着・海底ごみの回収及び処理の推進	藻場再生活動を行う漁協数	4 漁協	4 漁協
			アワビの漁獲量(再掲)	10 トン	17 トン
基本事業2 漁業経営の安定 支援	(1) 漁業経営の安定と生産性の向上	(ア) 漁業経営の効率化と安定化の推進 ・スマート水産技術の導入等による漁業の生産性向上と経営効率化 ・漁業における水福連携の促進と外国人材活用の検討 ・海洋環境の変化に対応した生産技術の改良・開発及び高水温耐性等のある新規養殖種の導入の検討と実証 ・サーモン養殖の実証試験の実施と事業化の推進 (イ) 安全で安心な産地形成 ・国への貝毒に係る調査研究実施の働き掛け (ウ) 労働環境の改善 ・生産工程の省力化に向けた施設の改修と設備の導入	主な養殖生産量 (カキ・ワカメ・ホタテガイ・ホヤ)	4,620 トン	6,500 トン
			主な養殖生産額 (カキ・ワカメ・ホタテガイ・ホヤ)	2,679 百万円	2,700 百万円
			新規養殖実証試験実施漁協数	3 漁協	5 漁協
			漁業共済加入率	85.4%	85.4%
	(2) 担い手の育成・確保	(ア) 漁業後継者の育成 ・小中学校の水産教室など、教育機関への積極的な協力 (イ) 新規漁業担い手の受け入れ・定着の促進 ・インターネット等を通じた漁業の魅力や就業環境等の情報発信 ・大船渡市漁業就業者確保育成協議会のガイドラインに基づく漁業担い手の確保・育成	新規漁業従事者数	6 人	6 人
	(3) 漁港・漁業集落基盤の整備・活用	(ア) 漁港の整備と活用 ・既存の漁港施設の有効活用による蓄養等の実証や事業化の推進 ・海業取組計画等の策定と海業の推進 (イ) 集落環境の整備と維持 ・綾里地区漁業集落環境整備事業の推進 ・漁業集落排水施設・水産飲食用水施設の機能保全事業の推進	海業取組件数	0 件	4 件
			漁港機能保全計画達成率	38.6%	100%
			綾里地区漁業集落環境整備率	39.8%	100%
基本事業3 水産加工・流通 機能の強化	(1) 大船渡市魚市場の水揚げ増強	(ア) 漁船誘致の強化 ・魚市場への水揚げ増強対策の推進 ・漁船誘致事業の充実強化 (イ) 衛生管理・鮮度管理の推進 ・優良衛生品質管理市場・漁港への継続認定	魚市場水揚量	26,538 トン	31,000 トン
			魚市場水揚高	6,705 百万円	7,000 百万円
	(2) 水産加工・流通体制の強化	(ア) 水産加工・流通の強化支援 ・水揚量が増加している魚種への加工原魚転換等の推進 (イ) 水産物の高付加価値化と販路拡大 ・ふるさと納税制度等を活用した販売の促進 ・「大船渡品質」を活用した大船渡産水産物の消費者等への周知 (ウ) 魚食普及の強化 ・教育機関等との連携による未利用・低利用魚の活用と魚食普及	水産食料品製造品出荷額等	112 億円	190 億円

*基本事業2「漁業経営の安定支援」の成果指標「主な養殖生産量」及び「主な養殖生産額」は、令和5年度の実績値。